

超急傾斜農地における農地維持に向けた取り組み

協定面積 13ha 協定参加者 19人

物部町 頓定集落

【集落の紹介】

頓定集落は、山間に作られた集落でその大部分が急傾斜地となっており、もともと狭い棚田の場所にユズを植え農地の維持管理しています。

また、物部でも最初にユズ栽培を始めた地域で、物部の柚ブランドを広めたことにより、柚栽培が盛んになりました。今では集落のほとんどの農家がユズを栽培しており、ユズ的一大産地となっています。

【集落の主な作物】

主にユズ栽培が中心ですが、稲、銀杏、ぜんまい、たらの芽など

【集落協定代表者より】

農業を続けていく上で道路の補修は不可欠なっているため、本交付金により農道整備を行っている。また、大きな改修が必要な場所については計画的に貯金し整備し、集落でコミュニケーションも取れている。また、後継者も順に育ち、不足していることも無く今後も農地の維持ができる環境となっている。

